

# 病害虫発生予察地区報第2号

— 地区注意報 —

病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）

## 1 情報の内容

南信農業試験場で実施している果樹カメムシ類のトラップ調査において、本年5月第4半旬時点で多発年とほぼ同程度の頭数（チャバネアオカメムシ）が捕獲されていることから、今後、南信地域においてカメムシ類が多発生する恐れがある。

## 2 対象地域

南信地域の果樹栽培地帯（なし、もも、うめ、すもも園など）

## 3 根拠

- 南信農業試験場がこれまで実施しているフェロモントラップ調査では、カメムシ類の越冬場所である広葉樹林地帯での捕獲個体数が多く、また繁殖地であるヒノキ林の捕獲数も多い（表1）。また、平年と比べても誘殺数は多く推移している。
- 巡回調査ほ場（中川村、りんご）においても飛来が確認されている。
- 向こう1か月の気象予報（気象庁5月22日発表）では、暖かい空気に覆われやすいため、気温は平年並か高い。1週目は寒気の影響で気温は低くなるが、その後は高くなるため、カメムシ類の発生量の増加が予想される。

表1 フェロモントラップによるチャバネアオカメムシ捕獲個体数\*  
(5月第4半旬までの合計値)

	下伊那郡高森町		
	南信農業試験場内 ナシ園付近	越冬場所 広葉樹林	繁殖地 ヒノキ林
令和7年（2025年）	5	193	33
平年値（平成27年～令和6年）	1.2	137.8	31.1
令和6年（2024年）**	2	275	40
令和5年（2023年）	0	62	25
令和4年（2022年）	0	77	2
令和3年（2021年）	0	97	18
令和2年（2020年）**	8	201	60
令和元年（2019年）	0	146	2
平成30年（2018年）**	2	308	52
平成29年（2017年）	0	48	27
平成28年（2016年）	0	93	64
平成27年（2015年）	0	71	21

\*南信農業試験場調査データ \*\*カメムシ類の多発年



図1 チャバネアオカメムシ成虫



図2 カメムシ類による幼果の被害（もも）  
→○にみられるカメムシ類による吸汁痕

#### 4 防除対策及び留意点

- (1) チャバネアオカメムシは、広範囲で移動を繰り返し、地域全体で被害が多くなるので、防除対策は地域全体での取組が望ましい。
- (2) 多発年では、8月頃まで成虫が恒常的に果樹園へ飛来し、幼果・成熟果を加害するおそれがあるので注意する。
- (3) 薬剤による防除については「長野県農作物病虫害雑草防除基準」を参考にする。  
(<https://www.pref.nagano.lg.jp/bojo/nouyaku.html>)
- (4) 気温の高い日が2～3日続くとカメムシ類の移動が活発になる傾向があるので、今後の気象情報、発生予察情報に注意する。

(問合せ先)

担 当 病虫害防除部 中南信班  
佐原、内田  
電 話 0263-53-5642  
ファクシミリ 0263-54-4508  
電子メール [bojo-y@pref.nagano.lg.jp](mailto:bojo-y@pref.nagano.lg.jp)